

いじめのない町を目指して

山田町児童生徒サミット開催



7月31日、町中央コミュニティセンター2階集会室で、平成29年度山田町児童生徒サミットが開催されました。これは、町内の小・中・高の児童生徒に、身近な問題の解決に取り組んでもらい、資質の向上を図ることを目的に初めて開催されたもの。第1回のテーマは「いじめのない学校を目指して、わたしたちができること」でした。児童生徒たちは協力して話し合いを進め、「山田町いじめ防止宣言」を作成しました。今号はサミットの内容についてお知らせします。

開催に先立ち、山田町児童生徒サミット実行委員長の上沢りえさん（山田高校3年）が「いじめ防止について、自分たちで考えていきましょう」とあいさつ。続いて、佐々木茂人教育長は「これからの未来を担っていく皆さんで協力していじめ防止の宣言を作成してください」と期待を込めました。その後に行われたのは、自己紹介を兼ねたミニゲーム。初対面同士の児童生徒たちでしたが、ゲームを通して自然と打ち解けた様子でした。続いて行われたのは、各校の紹介。参加者は、それぞれの児童会・生徒会の活動紹介に



高校生と小学生が協力して話し合い

耳を傾けていました。そして、いよいよいじめ防止についての協議がスタート。参



左から田村大喜君（織笠小6年）、佐々木愛みさん（同6年）、阿部清佳さん（轟木小6年）、篠澤麻衣さん（同6年）

いじめ防止につながってほしい

佐々木さんは、「自分の意見を話すのは難しく緊張したけど、グループの高校生がフォローしてくれました」と参加した感想を話します。また、「この活動が、町のいじめ防止につながれば良いと思います。来年もがんばりたいです」と次への意欲も見せてくれました。

サミットに参加して
感じたこと

加者は4つのグループに分かれて話し合いました。協議では「見ないふりはいけないと思う」「やさしい言葉をかけるような運動をしたらどうか」など活発な意見が飛び交いました。

各グループの代表がそれらの意見をまとめ、発表。発表された意見をもとに、次のいじめ防止宣言が採択されました。

なお、このいじめ防止宣言はポスターにして各学校に掲示。児童生徒が1年間取り組んでいきます。

山田町いじめ防止宣言

みんなの笑顔を

みんなので守ります。

- 一、私たちは、思いやりの心を持ち誰とでも仲良くします。
- 二、私たちは、一人ひとりの個性を認め合い、大切にします。
- 三、私たちは、いじめに気づいたら、見て見ぬふりはしません。
- 四、私たちは、スマホやネットで人を傷つけません。
- 五、私たちは、明るいあいさつとあつたか言葉かわわします。

各グループの意見



山崎 蓮君(山田中3年)

- ・思いやりの言葉をつかう。
- ・いじめを見かけたら、先生や誰かに相談する。
- ・各学校で元気なあいさつ運動を実施する。

- ・相手を尊重する心を持つ。
- ・宣言には「笑顔」という言葉を入れたい。
- ・やさしい言葉をかける「あつたか言葉運動」を実施する。



上沢 りえさん(山田高3年)

- ・自分の言動を相手がどう感じるか良く考える。
- ・人の良いところに目を向けて、それを発表する場を設ける。

- ・いじめはあってはならないことだと認識する。
- ・スマホやネットでのいじめ防止に取り組む。
- ・学校全体の仲間意識を強くする。



山崎 智子さん(山田高2年)



川村 謙心君(豊間根中3年)

無関係なことではないと実感

今回で、いじめ問題は、自分たちにも無関係なことではないと改めて感じることができ、小学生からのいじめについての意見もとても参考になりました。今回、グループの中で進行役を務めました。緊張してうまくできませんでした。次回の課題ですね。



佐々木 茉祐さん(山田高2年)

自分だけでは気付けないこと

各学校の取り組みの紹介を聞くことで、自分たちだけでは気付けないことに気付くことができ、協議では小学生目線からの意見が参考になりました。2学期からの学校の取り組みには、今回採択されたいじめ防止宣言を盛り込んで、活動していきたいです。



松葉 理桜さん(山田中3年)